

2021年2月19日

株式会社センターポイント・ディベロップメント

名古屋市でマルチテナント型物流施設「CPD 名古屋みなと」を開発

株式会社センターポイント・ディベロップメント(本社:東京都千代田区、代表取締役吉川陽介、以下「CPD」)は、CPDがアセットマネジメント業務を受託する特別目的会社を通じ、2021年1月29日に愛知県名古屋市において、延床面積約23,000㎡のマルチテナント型物流施設「CPD名古屋みなと」(仮称、以下同じ。)の開発用地を取得しましたのでお知らせいたします。当施設は2021年4月に着工し、2022年5月の竣工を予定しています。

CPD名古屋みなとは、名古屋市中心部から10km圏内に位置し、名古屋南部の基幹産業 道路として利用されている、国道23号名四バイパスの「寛政」ICまで約1kmと、名古屋圏 内への配送拠点として優れた立地です。また、東名・新東名高速道路に直結する伊勢湾岸 自動車道「名港中央」ICまで約6km、開通すれば名神高速道路までのアクセスも容易になる名古屋第二環状自動車道(2020年度中の全線開通を予定)「名四西」ICまで約6kmに立地し、中部圏のみならず東日本・西日本向けの広域配送拠点としても利便性の高い立地です。加えて、名古屋駅につながるあおなみ線「稲永」駅から徒歩約4分であるため通勤利便性が高く、周辺には豊富な労働人口を抱える住宅エリアが広がることから雇用確保にも優位性があり、物流施設開発地として恵まれた立地条件を有しています。

CPD名古屋みなとは、地上4階建てで1フロア約1,700坪(賃貸区画)を有し、最小約2,200坪(賃貸区画)からの分割利用を想定しています。当施設の床荷重、柱スパン及び梁下天井有効高はいずれも最新型物流施設の仕様を備え、荷物用エレベーターや垂直搬送機の設置計画を充実させることで、幅広い荷物に対応し、貨物の搬送及び保管の効率化を実現します。また、全館LED照明を備えるなど環境に配慮しているほか、非常用発電機を設置し、浸水対策として受変電設備を2階のバルコニーに設けるなど、入居テナントのBCP(事業継続計画)にも配慮した計画としています。

■ 広域図



※名古屋第二環状自動車道の名古屋西 JCT - 飛鳥 JCT 間は、2020 年度開通予定。

■ 詳細図



■ 外観完成イメージ





■ 施設概要

施 設 名: CPD 名古屋みなと

所 在 地:愛知県名古屋市港区十一屋

敷地面積:約11,000 ㎡ 延床面積:約23,000 ㎡

着 工:2021年4月(予定) 竣 工:2022年5月(予定)

■ 当施設に関するお問い合わせ先

東京都千代田区大手町一丁目9番2号

大手町フィナンシャルシティ グランキューブ19階

株式会社センターポイント・ディベロップメント (http://centerpoint.jp/)

リーシング担当者:金星 開発担当者:髙橋

電 話 番 号:03-6206-1275

メールアドレス: info@centerpoint.jp